

平成 21 (2009) 年度 日本語研修コース報告

和田 礼子

1. 第 11 期 (2009 年 4 月~2009 年 9 月) コース概要

開講期間：平成 21 年 4 月 14 日 (月) ~9 月 12 日 (金)

開講時間数：7 月 31 日まで授業は週に 90 分×8 コマ。

8 月 31 日からポスターセッションのための準備

	月	火	水	木	金
10:30~12:00	日本語 会話 1				
12:50 ~14:20	異文化 理解 1	漢字 1	スピーチ		

*Word, Power point 実習、修了レポート作成 (集中講義)

使用教科書：『みんなの日本語初級 I』(スリーエーネットワーク)

『みんなの日本語漢字 I』(スリーエーネットワーク)

コース日程：

- 4 月 8 日~4 月 16 日 プリセッション ひらがな、あいさつ指導
(センター教官指導のもと、チューターによる個別指導)
- 4 月 14 日 全学留学生オリエンテーション
- 4 月 20 日 日本語授業開始
- 6 月 22 日 オープンクラス (日本語授業の公開)
- 7 月 30 日、31 日 日本語能力試験 4 級 (過去問題) 実施
- 8 月 1 日~8 月 30 日 夏休み
- 8 月 31 日~9 月 11 日 ポスターセッション準備
- 9 月 12 日 ポスターセッション

2 受講生・授業について

クラスは当初 12 名で開講したが、中間テスト終了後、2 名が初級会話 2 のコースに移り、また、交換留学生の一人が、研究上の理由から受講が困難になったため、最終的には国費研究留学生 7 名、交換留学生 1 名、研究生 1 名の、計 9 名がこのコースを修了した。国籍はフィリピン 2 名、ナイジェリア、インド、スペイン、フィジー、ベトナム、タイ、セネガルが各 1 名で、全員が非漢字圏だった。

途中、授業についていくのが困難と思われる学習者 1 名には中間テストの前にチューターをつけ、日本語学習をサポートした。

前年度に引き続き、新しい単元に入る日に新出単語のテストを行った。前日に絵カードのリストを配布し、その中からテストを出題した。授業で使う絵カードと同様のものを使用し

たため、授業の流れもスムーズになった。

また、e-ラーニングコンテンツを利用した言葉の予習、復習や、動詞の語形変化の練習なども定着し、自主的にe-ラーニングで学習する学生が多かった。最終試験の結果は全員合格であった。コミュニケーション能力という観点からは全体的に高く、基本的な情報のやり取りはできるようになった。下位の学生は、発話力に問題はあるが、聴解や場面理解がよくできるようになった。

学期末の授業評価（5点満点の評価）では「あなたはたくさん勉強しましたか」平均：3.8、「授業でおぼえたことを毎日の生活で使えるようになりましたか平均」平均4.0、「授業のスピード」平均：4.2だった。授業のスピードが遅いと回答した学生が2名、学習量が少ないと答えた学生が2名だった。上位の学生は余裕をもって授業に参加していたため、このような学生は、もっと先の課まで学習したいという希望を持っているようだ。

今期の研修コース生は教室以外でのコミュニケーションの機会を持つ学生が多かったため、コミュニケーションの点では問題なかった。しかし一方、研究のため欠席せざるを得ない学生も多かった。日本語クラスだけでは学べない多くのことを学ぶ一方、日本語の授業との両立には、かなりの努力を要する。

今後も研究と日本語学習を並行して進める学生のための教材、システムについての工夫が必要である。

(留学生センター准教授)